

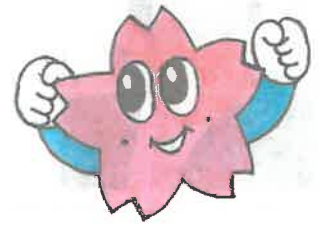


横浜市議員

花上きよし市政レポート

2024年4月(第517号)

熱血行動派!



来年以降も5カ年開催!

世界トライアスロン横浜大会継続へ!

横浜市議員 花上喜代志



▲組織委員会で発言する花上議員

ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会の組織委員会が2月2日に開催。

国際組織であるワールドトライアスロン連合から向こう5年間も横浜で開催して欲しいとの要請があり、承認しました。

組織委員会には会長の山中竹春市長や日本トライアスロン連合の岩城光英会長などが出席。

私も横浜市トライアスロン協会の会長として出席、発言しました。

私は2005年から世界大会の招致に奔走。

自ら山下公園前の海で泳ぐなど横浜の海の安全性をPRしました。

キッズプログラムも盛り込んだ昨年は2日間で延べ33万人が来場し、大いに賑わいました。

大会は「国際都市ヨコハマ」を世界に発信する絶好の機会にもなっています。

2024年は5月11日と12日に開催予定。

2025年以降の5年間という長期のオファーは、横浜大会が世界から高く評価されている証とも言えます。

私は今後も横浜大会を発展させていくため、全力で取り組んでいく考えです。

スポーツシーズン到来!

ベイ三浦監督を激励

3月26日、花上喜代志市議は横浜スタジアムで三浦監督に花束を贈呈、「今シーズンの優勝目指して頑張ってください」と激励しました。

昨シーズン3位に終わったベイスターズが「優勝目指し全力で戦う決意」を三浦監督が力強く語りました。



▲優勝に向けて激励



横浜市議員

かわら版瀬谷 花上きよし市政レポート

2024年4月(第517号)

花上きよし事務所 ☎(363)9749
瀬谷区三ツ境174-37

山中市長「子育て支援」公約実現へ！

出産費用、市独自に9万円を助成

横浜市議員 花上喜代志



▲山中市長と公約実現へ

山中竹春市長は2月9日の市会本会議で2024年度の市政方針を発表し、「市民の皆様の『声』に耳を傾けていく」と「市民目線」を重視する姿勢を改めて強調しました。

特に子ども・子育て支援に最優先で取り組む考えを示し、様々な施策をまとめた独自パッケージを発表。

このなかには私たちが2021年の市長選で提言した「出産費用ゼロ」に関する施策も盛り込まれています。

市では2024年度、国による出産育児一時金に加えて独自に9万円を助成。

市の公的病院における基礎的費用（入院や分娩料）の最大値57.6万円までをカバーすることになります。

神奈川県の出産費用は全国で2番目に高く、市の調査でも経済的負担を感じているという家庭が約85%にもあがっています。

9万円の独自助成によって経済的負担の軽減や、地域格差の解消につながることを期待されます。

子育て支援の独自アプリで便利に！

子育て応援サイト・アプリ（仮称）を今年6月末にリリースすることも打ち出されました。リリース時には児童手当や小児医療助成などの各種手続きが行える予定で、その後も順次拡大されていきます。

また、住所や子どもの年齢、利用者の関心事などに合わせて、各種手続きやイベントをお知らせする機能も搭載されます。

人口減少社会のいま、子どもや子育て支援を充実させることは急務。

私は今後も山中竹春市長とともに支援の拡大に取り組んでいく考えです。